

# 令和元年 9 月市長定例記者会見 記録

令和元年 9 月 24 日(火)

午前 10 時～午前 10 時 20 分

## 発表案件

### 1. 第 12 回みなとオアシス Sea 級グルメ全国大会 in 佐渡の開催について

新潟開港 150 周年記念事業の一環としまして、10 月 19 日、20 日の 2 日間、おんでこドームにおきまして第 12 回みなとオアシス Sea 級グルメ全国大会 in 佐渡を開催いたします。全国各地のみなとオアシスから自慢の Sea 級グルメが集合し、来場者の投票によりまして今年の Sea 級グルメナンバー 1 を決定します食のイベントでございます。今回の佐渡大会では、全国から 18 種類の Sea 級グルメの出店があるほか、ステージではギャル曽根さんによるトークショー、RYUTist のミニライブ、陸上自衛隊第 12 音楽隊コンサート、佐渡の伝統芸能披露など盛りだくさんのステージイベントもでございます。また、あいぽーと佐渡をサブ会場と位置づけまして、緑地周辺において官公庁船舶の一般公開、たらい舟の乗船体験、e スポーツ大会、島の屋台村、各種芸能披露、そして花火の打ち上げなどを行います。駐車場につきましては、イベント期間中は大変混み合いますので、会場周辺の駐車場のほか両津総合体育館と旧両津文化会館の駐車場もご利用いただけます。なお、両津総合体育館から 30 分間隔で無料のシャトルバスを運行しますのでご利用いただきたいと思っております。

全国各地の Sea 級グルメを味わえる滅多にない機会でありまして、二会場を使った盛りだくさんのイベントとなっておりますので、ぜひ多くの市民の皆様のお越しをお待ちしております。なお、前日 18 日には、Sea 級グルメ全国大会の開催地として、みなとオアシス全国協議会の総会も市内のホテルにおいて開催されますのでよろしく願いいたします。

### 2. 佐渡ジオパーク再認定審査の実施について

佐渡ジオパークの再認定審査が、10 月 4 日から 6 日にかけて、3 名の審査員に来島していただき、佐渡島開発総合センターなどを会場に実施されます。今回の審査は、平成 29 年の再認定審査において条件付再認定となったことを受けて実施されるもので、前回指摘された課題の改善状況についてのヒアリングなどが行われます。審査の結果が再認定となり、引き続きジオパーク活動を継続すべく万全を期して審査に望む所存でございます。参考に審査の行程表を配布させていただきましたが、この中でメディアへの公開欄に丸で表示してある項目以外は取材不可となっておりますのでご注意ください。

また、審査の結果は本年 12 月下旬に開催されます日本ジオパーク委員会で審議され、その認定の可否が決定される見込みになっております。

### 3. 佐渡金銀山遺跡 景観保全ボランティア活動について

令和元年 10 月 5 日(土) 午前 10 時 15 分から、北沢浮遊選鉱場跡にて、草刈りやごみ拾いなどの

景観保全活動を実施いたします。つきましては、ご協力いただけるボランティア参加者を募集いたします。参加費は無料で、120 人を目標に募集いたします。お申し込みは、電話、ファックス、電子メールのいずれかにてお願いいたします。また、参加いただいた方には、当日に限りきらりうむ佐渡展示室を無料で観覧できる入場券をお配りさせていただきます。

ぜひ多くの方からボランティア活動に参加いただき、佐渡金銀山遺跡に親しみを持っていただく機会にさせていただけたら幸いです。お問い合わせ等につきましては、佐渡市世界遺産推進課、電話番号 63-5136 までお願いいたします。多数のご参加をお待ちしております。

#### **4. 認知症フォーラムの開催について**

10 月 13 日の日曜日午後 1 時から午後 5 時まで、あいぽーと佐渡におきまして令和元年度佐渡市認知症フォーラムを開催いたします。認知症の方は全国で約 500 万人を超え、65 歳以上の高齢者の約 7 人に 1 人が認知症と推計されております。認知症は誰もがなる可能性があり、ご家族や身近な人が認知症になることなども含め、多くの方に認知症とは何かを知っていただくことが重要になっております。当日は午後 1 時から認知症サポーター養成講座を開催いたします。認知症について症状や行動、治療や診断についての基礎知識と対応の仕方などを学びます。午後 3 時からは国立長寿医療研究センターの遠藤英俊氏から、「高齢者の意思決定支援～支える私たちができること～」と題しまして講演をいただきます。一人一人がこれからの生活をより良く暮らしていくために、様々な立場からできること、誰かを支えていくことについて考えていただければと思っております。いずれも事前申込は不要でございます。認知症になっても安心して暮らせる社会を目指し、ぜひ多くの皆様からのご参加をお待ちしております。

#### **5. 新潟県・庄内エリア DC（デスティネーションキャンペーン）について**

本県では 5 年ぶり通算 9 回目のデスティネーションキャンペーンが開催されます。開催期間は令和元年 10 月 1 日から 12 月 31 日までで、概要としましては新潟県内を 7 エリア、山形県庄内を 1 エリア、この計 8 エリアで特色のある食を中心に魅力を発信するものです。今回のデスティネーションキャンペーンのテーマは「日本海美食旅」と銘打ちまして、各エリアの食を中心にその食の背景、歴史、多彩な食文化を掘り下げ、観光客の皆様に対しまして各エリア独自の食文化と向き合った自慢の一品を提供いたします。

お手元にも配布させていただいておりますが、佐渡エリアの特色としては、テーマを「今、会いに行きたい、人と旬」としまして、特集ページでは地元の食材を活用している料理人、そして、こだわりの米作りに取り組んでおります生産者を取り上げております。次に、佐渡を両津・相川・国中・南佐渡の 4 つのエリアに分けまして、各エリアの食・文化・歴史・体験等を紹介しております。さらに、昼食やスイーツを楽しめるお店、夜を中心に旬の食を満喫できる飲食店、地元の人でも知らないおみやげ等を紹介した内容の濃いガイドブックを 4 万部制作させていただきました。このガイドブックは佐渡汽船新潟港、両津港ターミナル、佐渡観光交流機構及び各案内所、佐渡市内各商工会、ガイドブックに掲載されております観光施設、飲食店、佐渡市観光振興課等にて無料で配布いたします。JR 東日本が総力を挙げて送客に取り組み、新潟県そして山形県庄内エリアを大々的に

発信いたします。佐渡市としても新潟・庄内を訪れるお客様に魅力を伝え、一人でも多くのお客様に佐渡に足を運んでもらえるように、関係施設と一体となりデスクティネーションキャンペーンを盛り上げて行きたいと考えております。

## 事前質問

1 三浦市長は来春の市長選に再選を目指して、出馬する予定でしょうか。

この件につきましては、また別途の機会に改めて明らかにさせていただきます。

2 環境省は27日に第21回トキ放鳥を佐渡市片野尾地区で実施します。佐渡市としての協力体制を説明してくださいというものでございます。

この27日の放鳥にあたりましては、佐渡市として放鳥場所並びに観覧場所へ、参加者の皆様を送迎するための車両の運行を行います。さらにその運行のための誘導員等の配置も行います。

以上でございます。

## 質疑応答

### 1. 第12回みなとオアシス Sea 級グルメ全国大会 in 佐渡の開催について

なし

### 2. 佐渡ジオパーク再認定審査の実施について

記者：

前回の指摘の改善状況について、現時点での達成についてどのように捉えていらっしゃるか。

市長：

前回の課題として指摘された部分について、スパンとして短い期間でできるものとさらにその後も継続して取り組まなければいけないものというような課題をいただきました。それら一つ一つの指摘された課題について、それぞれ全部進捗状況というものを点数化しながら全部今組み立てておりますし、ジオサイトの再設定についても、その辺のところも着々と進んでおりますので、そこについては一つ一つ審査員の皆様にお伝えできればと思いますし、当然まだ継続的に取り組まなければいけない、まだ完結していないものもいくつもございますので、その辺のところをしっかりと、まずはやらなければいけない部分はかなり実現はできているものと思っております。

記者：

では再認定を受けられる基準に達しているだろうというふうに考えているってことですか。

市長：

再認定を受けられるだろう基準というか、再認定を絶対受けなければ、勝ち取らなければいけないところまでの努力はさせていただいているということでございます。

記者：

行程表の一番最後の記者会見・取材というふうにありますけれども、これはあちらの委員の方の

会見なのか、市としての終わったということに対しての会見なのか、どちらなのか。

市長：

来島いただく3名の審査員の方の会見でございます。

記者：

市としてのコメントなどは、特にその時には・・・。

市長：

こちらはこちらで、その時に私をはじめ取材がありますれば、お引き受けいたします。

### 3. 佐渡金銀山遺跡 景観保全ボランティア活動について

なし

### 4. 認知症フォーラムの開催について

記者：

午後1時からの認知症サポーター養成講座なんですけど、これは講座と銘打つからにはオレンジリングが終わった後にももらえるようなきちとした講座になるってということですか。

高齢福祉課長：

サポーター講座の件につきましては、受講していただいた方にはオレンジリング、今私がこちらに付けておりますが、こちらのリングのほうをお渡しするというような講座となっております。

### 5. 新潟県・庄内エリア DC（デスティネーションキャンペーン）について

記者：

このDCの期間中なんですけども、市内の入り込みをどれくらいの人数を検討されているか、それは例年の観光客と比べてどれくらいの伸びが見込まれるか。

観光振興課長：

DCなんですけど、実は送客目標というものは持っていません。というのは地域づくりというところに主眼を置いているからです。過去のデスティネーションキャンペーンの送客人数でいうところも、意識して出してはおりません。例えば参考になのですが、前回のプロモーションの中心を特に宿根木というところにあてております。宿根木は前回のDC期間終了後にお客さんが倍増して、5年後の今になっても以前から増して伸び続けているというところから、意識して送客人数というものは持っていないという取り組みになります。

### 事前質問への追加の質疑

記者：

トキ放鳥については、片野尾地区はトキに関する想いが多分強い場所だと思うんですが、市としてはここで放鳥する意味っていうか、どういうふうに捉えていますか。

市長：

ここにつきましては、これはもう以前から環境省さんも含めて今の訓練センターからのソフトリリースでずっとやってきましたが、どうしてもトキの数は増えてきた中でも生息地域が限定されてきている部分で、今までなかなか生息できてなかった地域で放鳥することによって、その地域に定着していただけるかどうかというようなところも含めて、従来とは違った基本的にトキの生息地ではない地域についての放鳥というものも検討しましょうということで、環境省さんと佐渡市のほうで相談させていただいてきた中で、今回の片野尾地区は元々最後までいたところでございますし、その思い入れもあって地区の皆さんのご理解も得ましたので、そこで今回放鳥をしてみようという運びになったということです。

記者：

農業とトキっていう結びつきを持たせようっていう取り組みはしてると思うんですが、そういう面ではどうですか。

市長：

今回片野尾地区のほうですと、中山間地の農業になりますし、要するに平野部以外のところでどこまでトキが放鳥したあと、定着してくれるかどうかというところにおいても、一つのテストケースになるのかなということです。